

廿日市市協働によるまちづくり 推進計画の策定に向けて ニュースレター vol.4



第3回 策定委員会

2025年7月31日(木)

18:30～20:00

廿日市市役所 7階会議室

- 第3回は、前回の策定委員会の意見や各種調査結果、職員ワーキングを経て作成した計画素案(仮)について、意見交換をしました。
- 「趣旨」「現状分析」「取組方針」「成果指標」の考え方を説明した後、4つの仕組みごとに、市民の目線から計画をブラッシュアップするための意見を出し合いました。
- 最後に、自分が共感した意見に「いいね！」を付けました。

推進する仕組み

(1) 特性を生かしたまちづくり

[取組方針(案)]

- ① まちづくりの拠点の体制及び環境整備(ソフト及びハード)
- ② 円卓会議の推進
- ③ ビジネスの手法を取り入れたまちづくり活動の推進

[成果指標(案)]

- ・ 多様な主体が協働して、地域のニーズや課題の解決に向けて取り組んでいると感じる市民の割合

[共感が集まった意見(抜粋)]

- ◆ まちづくり活動団体の体制が多様化している中、コミュニティ以外の組織の活動の支え方が気になる
- ◆ まちづくりの拠点として、こどもの居場所や集える場が必要
- ◆ 「円卓会議」が分りづらいので、説明や開催のプロセスを載せてほしい
- ◆ 「円卓会議」のよい例を載せることでより身近になり、開催につながる
- ◆ ビジネスの手法を使った身近な事例がなく、何が当てはまるのか分からないので、具体例の記載が必要

推進する仕組み

(2) 情報発信による信頼関係づくり

[取組方針(案)]

- ① 受け手の立場に立った情報発信・共有の推進

[成果指標(案)]

- ・ 廿日市市公式LINEのお友達登録数
- ・ 受け手の立場に立った情報発信や共有により信頼関係づくりにつながったと感じる事業の割合

[共感が集まった意見(抜粋)]

- ◆ 障害のある人、日本語を母国語としない人等へのフォローも必要とされるのではないかな
- ◆ 媒体ごとでの使い方を工夫する(例えば、Xはお知らせアプリとして使う)
- ◆ 公式LINE「お友達登録数」は、友達がどのくらい増えたかよりも継続しているフォロワーが大事なのではないか？また、実際にどのくらいの人が見ているかの分析も必要
- ◆ LINE以外の媒体(Instagram、YouTube、Facebook、移住定住HPなど)も成果指標に加えてはどうか？



推進する仕組み (3) 人づくり

[取組方針(案)]

- ① 市民相互の学び合いへの支援
- ② 子どもや若者の地域への理解や愛着の醸成
- ③ 誰もがまちづくりに参加・参画しやすい仕組みづくり
- ④ 協働によるまちづくりの担い手としてふさわしい職員の育成

[成果指標(案)]

- ・ 学びたいことを学べる機会や、やりたいことに挑戦できる機会がある市民の割合
- ・ 課題の解決に向けて自分で考え自分で取り組む児童生徒の割合
- ・ 地域主体の活動(運動会、とんど、秋祭りなど)に参加している市民の割合
- ・ 協働によるまちづくりの担い手としてふさわしい職員の育成につながったと感じる事業の割合

[共感が集まった意見 (抜粋)]

- ◆ 町内会・自治会等への新しい人材の加入や、新しい視点を取り入れやすくするためのサポートを強化してほしい
- ◆ 子どもや若者の活躍をもっと評価(学校での表彰など)してあげてほしい
- ◆ 地域で守ってきた暮らしから生まれた景観を大切にすることで、地域への愛着につながるのではないかな
- ◆ 「孤立」しないという言葉がキーワード、家庭教育支援を重要視してほしい
- ◆ 庁内での連携を強化して職員同士も手をつなぎ、市民とも手を取り合って推進してほしい
- ◆ 市民や市職員が共に学び合う、学び合える環境づくりも必要、一緒に互いを高め合える関係が理想
- ◆ 全国学力・学習状況調査では、実際の「課題の解決に向けて自分で考え自分で取り組む児童生徒の割合」は測れないのでは？

推進する仕組み (4) 評価及び支援

[取組方針(案)]

- ① 適切な評価及び支援

[成果指標(案)]

- ・ 市民主体のまちづくり活動の適切な評価や支援に繋がったと感じる事業の割合

[共感が集まった意見 (抜粋)]

- ◆ 新たな人材が生まれても、伴走支援の手をはなすタイミングが早い気がする。一定程度の伴走支援が必要



今回の意見は、計画素案への反映や、今後の段階的な調整において活用していきます。

策定委員会は、今回で予定していた全ての会議が終了しました。計画策定に向けた進捗状況については、策定委員のみなさまに随時共有しながら、より有効な計画の策定につなげていきます。

